



11月・12月  
お申し込み

**限定**  
キャンペーン

耕運爪が **3割引!!**

※納品は、お申し込みの翌月以降となります。  
※ボルト、交換工賃別途。



詳細はお近くの営農センターまでお問い合わせください。

## 使用済廃プラスチック回収のお知らせ

ご希望の方は最寄りの各支店・営農センターまたは営農生活部まで、**事前に希望処理数量をお申し出ください。**

◆回収日時  
**12月5日(火) 7:00~10:00**

◆費用  
**約46円~49円(税込)** ※産業廃棄物処理法に基づく処理(kgあたり)

- ◆注意事項
- ①農ビ(塩化ビニール)と農ポリ(ポリ系ビニール)を回収します。
  - ②農ビと農ポリは分別して回収しますので、分けて搬入してください。
  - ③ウェーブブロックなど糸入りビニールやマルチフィルム、劣化が進んだ(ボロボロのもの)は避けてください。
  - ④丁寧にたたみ、最大10kg程度にそろえて十字に紐をかけてください。
  - ⑤事前に申し込みのない場合は、回収できません。
  - ⑥搬入は、午前10時までに行うようお願いします。
- 申し込み締め切り 11月17日(金)

詳細は、営農生活部 ☎473-9402までお問い合わせください。

## 農作業を安全に! 11月~12月は特に注意



### 和歌山県内の農作業事故の実態

県内で労災保険の給付を受けるに至った農作業事故は  
**平成30年度~令和4年度の  
5年間で257件発生**

★約6割が収穫期に発生  
5月~6月(うめ)と、11月~12月(ミカン)で140件発生しています。特に、忙しい年末の12月は要注意です。

★事故原因は『墜落・転落』と『転倒』  
原因の6割以上が、脚立・樹木・傾斜地などからの墜落・転落や、作業中の転倒です。  
傾斜地の多い果樹園での作業は、特に注意が必要です。

### 事故防止のポイント

疲れのたまりやすい農繁期は、ちょっとした『焦り』や『気のゆるみ』が事故につながります。

- 作業計画はゆとりをもって
- 事前に準備と確認を
  - ・障害物は取り除く。機械を整備。
- 作業は慎重に
  - ・収穫時は必ず手袋を着用。
  - ・脚立を使用する時は、足場を確認、チェーンをかける。
  - ・草刈り機を使用する時は、ゴーグル着用。

### 青ネギ



秋まきの作型が11月以降に収穫を迎えます。収穫期が近づくと徐々に水を切り、葉に青みを持たせるようにしてください。

- 病害虫防除
- アブラムシ類

発生すると増殖が速いため、発生初期での防除が大切です。  
・コルト(顆) 200倍(3日/3回)  
・アグロスリン(乳) 1000~2000倍(7日/5回)  
●ペト病・さび病  
気温15℃前後で降雨が多いと発生しやすくなります。  
・アミスター20(フ) 200倍(3日/4回)

### カキ



今月は富有柿の収穫が最盛期となります。

出荷基準を厳守して収穫し、果梗部は短く切り果実を傷つけないようにしてください。

- 収穫のポイント
- ・果粉(果実表面の白い粉)はできるだけ落とさないようにしましょう。果粉は、新鮮さの度合いを表します。
- ・他の果実に傷をつけないため、果梗枝は完全に切り落としましょう。
- ・雨天の日の収穫等で果実が濡れている場合は、黒変果防止のため扇風機等で

乾燥させてから出荷しましょう。

- 病害虫防除
- 黒変果

黒変果は、着色始めの9月中下旬から成熟期にかけて増加します。発生が多く見られるのは、風通しが悪い・湿度が高い・日照時間が短い園地です。防止対策として、マルチの敷設・摘葉処理・雑草の刈り取りを行い、園内の湿度を下げることで地面を乾きやすくしましょう。

### ミカン



極早生の収穫、出荷が始まりました。適期収穫を心掛け、丁寧かつ品質をよく吟味して収穫しましょう。

- 品質向上対策

収穫期に雨が多いと浮皮果が助長されるため、水溶性カルシウム剤(バイカルティ)を引き続き散布してください。果実の肥大に伴い、枝が下垂してきます。地面まで下垂した枝については、枝つり・枝支えを行いましょ。

- 施肥

・ニューわかやま味一ブリエット(100kg/10a)  
または  
・わかやま配合(100kg/10a)  
施用時期が遅れると肥効が悪くなるため、11月上旬には施用を終えてください。

- 病害虫防除
- 果実腐敗防止

収穫1週間前に散布することで予防効果

果を高めることができます。

- ・トップジンM(水) 200倍(前日/5回) または
- ・ペフラン(液) 2500倍(前日/3回)

\*ペフラン(液)25の登録では、「かんきつ(みかん・ゆずを除く)」の使用回数 は、「2回」となりますので注意してください。

### ウメ



落葉が始まり休眠期に入ります。今月は土作りと整枝・剪定を行います。

- 施肥(土壌改良)

・新ふりかけ堆肥eco(200kg/10a)  
・苦土セルカフミン(120kg/10a)

- 整枝・剪定

剪定作業が年明け以降にずれ込むと、蕾が大きく膨らみ、貯蔵養分が無駄に消耗されるため、年内に終わるよう計画的に作業を進めましょう。

- 苗木の植え付け

落葉果樹の苗木の植え付けの適期は、11~12月です。老木樹及び不良品種の改植、受粉樹の不足園への補植を行います。また、植え付け後は乾燥を防ぐため、敷き藁等を施用し灌水しましょう。

### モモ



11月下旬頃から苗木の植え付けを行います。また、落葉を終えて少し経った樹から整枝・剪定を始めてください。

- 苗木の植え付け

乾燥には比較的強いですが耐水性が弱いので、排水が良好で通気性の良い土壌を好みます。植え付けの前には、完熟堆肥等の土壌改良剤を投入するとともに、排水対策を行いましょう。また、風当たりの強い園では防風樹・防風ネット等の防風対策を行ってください。

川中島白桃など花粉のない品種では、受粉樹を混植する必要があります。

### イチジク



気温が低下し、収穫は終盤を迎えます。

収穫後、園内に残っている葉や果実は病害虫の越冬場所となりますので、園外へ持ち出すか焼却しましょう。

- 施肥

・ニューわかやま味一ブリエット(80kg/10a)  
地温が10℃以下になる頃から根の活動が停止し、翌年3月頃まで休眠期に入ります。そのため、11月上旬までに施用してください。

### 適切な農薬散布を!

- ラベルを確認しましょう。
- ドリフト防止対策を徹底しましょう。
- 機器・用具等の洗浄や付着に注意。
- 使用状況は必ず確認を!

※誓約書・防除記録は必ず提出しましょう。